

進行した心不全病患者の症状改善

患者No.	病歴	酸化型CoQ10 → 還元型CoQ10 (mg/day) [摂取期間*]	心駆出率 (%)	NYHA 心機能 分類**	血中CoQ10 濃度 (µg/mL)
#1 (♂, 66歳)	OMI/除細動器	450 → 900 [20]	15 → 60	IV → I	2.0 → 9.3
#2 (♀, 78歳)	大動脈弁狭窄症/ 弁置換	600 → 450 [3]	35 → 50	IV → III	0.9 → 2.6
#3 (♀, 58歳)	OMI	150 → 450 [12]	10 → 10	IV → III	1.5 → 8.9
#4 (♂, 75歳)	左心室肥大/心 房細動	300 → 600 [10]	35 → 60	IV → I	1.7 → 5.1
#5 (♂, 67歳)	OMI/バイパス術	450 → 450 [10]	30 → 55	IV → II	1.5 → 5.6
#6 (♂, 70歳)	OMI	450 → 600 [9]	10 → 20	IV → II	2.0 → 5.7
#7 (♀, 68歳)	心房細動/解剖学 的正常冠動脈	450 → 600 [10]	20 → 20	IV → III	1.8 → 8.5
Average		450 → 580 [10]	22 → 39	IV → II	1.6 → 6.5

*還元型CoQ10摂取期間 (月)

**NYHA (New York Heart Association)心機能分類

I: 心疾患はあるが、通常の身体活動では症状なし(退院可能、歩行可能)

II: 普通の身体活動で、疲労・呼吸困難などが出現、通常の身体活動がある程度制限される

III: 普通以下の身体活動で愁訴出現。通常の身体活動が高度に制限される

IV: 安静時にも呼吸困難を示す(入院が必要、歩行不可)

